

ニ ュ ー ス 済 生

THE NEWS SAISEI



発行所

社会福祉法人 済生会
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F
TEL 03-3454-3311
FAX 03-3454-5576
編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

新型コロナ 医業収益131億円減 4～5月 経営悪化、より深刻に

4～5月の月次決算がまとまり、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う済生会病院の経営への影響が新年度に入ってからに深刻化していることが判明した。本会は6月中旬に影響緊急調査を実施し集計・分析を急いでいるが、大半の病院で悪化は避けられない見通し。

4～5月は前年比で入院患者延数が14%減、外来診療収益は39億円の減となった。この2カ月の医療事業収益は前年比で131億円減少、本業の収支を表すサービス活動増減差額は102億円の赤字となった（前年は7500万円の黒字）。

病院の影響を緊急調査

新型コロナウイルス感染症による病院経営への影響を把握するため本会は6月17日、全病院に緊急アンケートを実施した。調査の内容は①患者受け入れ体制と実績②2～5月における患者数と収

支状況の対前年比較③感染患者の受け入れに要した持ち出し費用④病棟閉鎖等による入院収益の減少額⑤国等からの補助金見込み額⑥収支悪化への対策――の6項目。

現在、集計中だが、病院経営への影響は深刻な見通しで、結果の取りまとめと分析が終わり次第情報を提供する。各病院の収支悪化への対策については、「地域連携強化等による患者確保」「支出の見直し・経費削減」「賞与支給額の減額」「施設整備・設備更新の延期」といった回答が寄せ

られた。

無低実施率は過去最高

生計困難者のために無料または低額な料金で診療を行なう無低事業について、令和1年度の実施率は12・6%だったが、

（経営管理課、社会福祉・地域包括ケア課）



通常診療でもこれまで以上の感染対策が求められ経費が増えている

済生会研究組織活動補助 研究グループ一覧（令和2年7月現在）

対象分野*	研究組織名	参加施設数	参加者数	代表者所属施設
1	全国済生会刑余者等支援推進協議会	18	19	山口地域ケアセンター
2	済生会臨床検査研究会	54	58	中央病院
2	全国済生会栄養士・管理栄養士研究会	79	79	中央病院
2	済生会図書室連絡会	24	24	横浜市東部病院
2	ファーマーシューティカルフィジカルアセスメント研究会	7	17	野江病院
2	済生会乳児院研究会	7	7	川口乳児院
2	済生会超音波研究会	46	160	中央病院
2	済生会MA会（メディカルアシスタント）	9	12	中央病院
2	済生会障がい者就労支援協議会	8	8	済生会かがやき
2	全国済生会臨床工学会	5	5	中央病院
2	済生会小児アレルギーセルフケア支援ネットワーク	6	33	中津病院
3	済生会広報実務研究会	24	30	京都府病院
4	済生会脳卒中研究グループ	36	37	中央病院
4	全国済生会糖尿病研究会	18	19	飯塚嘉穂病院
4	済生会リハビリテーション研究会	43	61	明和病院
4	全国済生会泌尿器科医会研究会	53	58	滋賀県病院
4	全国済生会肝臓共同研究グループ	20	21	吹田病院
4	全国済生会心臓血管外科の会	14	45	熊本病院
4	全国済生会整形外科研究会	8	10	吹田病院

*対象分野の番号は 1 本会の基本的な社会的使命を推進する研究活動 / 2 保健・医療・福祉の質の向上や標準化に資する研究活動 / 3 本会全体の組織・経営基盤を強化する研究活動 / 4 医学的な診療科・領域別等の臨床研究活動

九州大雨で災害対策本部 大牟田浸水 6病院DMAT

記録的な大雨による九州各地で発生した被害では、7月6日（福岡）大牟田病院の周辺道路が冠水、病院も1階が深いところで大人の膝の高さまで浸水した。このため同院は7日と



浸水した大牟田病院の外来フロア

8日の外来診療を休止して対応。災害基幹病院の福岡総合病院に、飲料水と備蓄食料品の支援を要請した。

本部は同日、事務局内に設置していた災害警戒準備室を災害対策本部に格上げ、被災状況等の情報収集を実施した。7日と8日には、福岡総合病院、福岡二日市病院、熊本病院、熊本みすみ病院、熊本福祉センターが大牟田病院に飲料水やタオル等の支援物資を届けた。

大牟田病院は8日に浸水した1階フロアを清掃、9日に外来診療を、10日にリハビリテーション外来を再開した。大牟田病院から約400メートル離れた老健「大牟田ライフケア院」でも、周辺道路が一時冠水したが、利用者や職員建物に被害はなく、緊急でショートの利用者を受け入れた。長崎や大分などにも大雨に見舞われたが、済生会の施設に大きな被害はなかった。

これに先立ち熊本県では大きな被害が発生したが、本会施設に被害はなく、福井県済生会病院、岡山済生会看護専門学校名誉校長 授与 浜家 一雄 7・1 山口県済生会 副会長 委嘱 弘田隆彦 7・1 介護老人保健施設ひびき苑名誉施設長 授与 黒木信善 7・1

群馬県済生会 西田保二殿 200万円（前橋病院へ） 新潟県済生会 株式会社全研ビルサービス殿 100万円 外山晴一殿 100万円（三条病院へ） 福井県済生会 宮川悠二殿 100万円 吉田敏貴殿 500万円 株式会社光陽殿 サイモスカメラ一式105万円相当

横断的組織の活動活性化 研究グループへ補助決定 令和2年度の「済生会研究組織活動補助」の対象となる研究グループが決定し、7月9日に研究代表者へ通知した。承認されたグループには3年間、原則として毎年50万円を助成し、3年ごとに更新する。同制度は、保健・医療・（事業推進課）

（京都府病院へ） 奈良県済生会 門田充幸殿 100万円 持田成典殿 100万円 持田妙子殿 50万円（御所病院へ） 鳥取県済生会 株式会社ミヨシ産業殿 検査待機所一式308万円相当（境港総合病院へ）

Web会議は「Zoom」

全支部・施設が利用可能に

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、集合型の会議や研修等を開催することが困難な状況が続いていることから、本部

は平成26年8月に導入したこれまでのWeb会議システムを「Zoom」に変更。7月1日から運用を開始した。

本部の契約では、一つの会議に最大500人が参加可能。会議を開く主催者はPC等にアプリをインストールする必要はあるが、主催者から招待された「参加者」はインストール不要。主催者からメールで送られてくる

URLを開くことで会議に参加できる。
また、リアルタイムで参加できなかった人のために、主催者が研修内容等を録画しておき、参加者に録画ファイルを後から知らせる容量も従来に比べ大幅に増加した。
システムの更新にあたっては、施設運営委員会や各種会議、打ち合わせ等ですでに利用。小規模の委員会や会議だけではなく、研修会等の大規模な会議にも対応が可能

なことからZoomを選定した。
本部と支部・施設の会議や打ち合わせだけでなく、本会の支部・施設における法人内外の会議でも利用できる。ライセンス費用は本部が支払うため、支部・施設の利用料は発生しない。
システム概要や利用方法などは6月24日に本部から全支部に通知している。
(情報管理課)



新任施設長の抱負

〔三重〕 松阪総合病院



みづおか けんじ
清水敦哉

昭和35年生まれ。三重県出身。62年自治医科大学卒業。地域医療に従事した後、平成8年三重大学第一内科助手、11年鈴鹿中央総合病院内科医長、13年松阪総合病院内科医長、24年消化器センター長、25年副院長、令和2年7月院長に就任。

「当院は、地域中核病院として地域医療支援病院、災害拠点病院等に指定され、令和1年3月には、三重県から女性が働きやすい医療機関に認定されました。少子高齢化に加え新型コロナウイルス感染症で医療環境は大変厳しい時代ですが、『市民にやさしく信頼される急性期病院』を目指します。そして、現在取り組んでいる新病院の建築にも全力を傾注してまいります」

看護の質検討委員会 コロナ禍での研修を協議

済生会で働く看護職員が、より質の高い看護を提供するため、本部看護室と全国済生会看護部長会が協働して、人材育成における目標や方法を検討する「看護の質検討委員会」が、7月13日にZoomを活用したWeb会議で実施された。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、本部事務局と各委員（中央病院・樋口幸子看護部長、唐津病院・岩崎理佳看護部長、中津病院・今西裕子看護部長、三条病院・金安弘子看護部長）の病院をインターネットで結び、今年度の本部研修の実施計画を協議した。緊急事態宣言は解除されたが、東京都では感染者が再び増加。感染リスクが高まっていることから、看護室では6月16日、全病院を対象に研修受講の意向、オンラインで研修を開催する場合のネット環境などについてアンケートを実施。その結果を踏まえて意見が交わされた。



委員からは、受講者の負担を減らす工夫をした上で、「コロナの対応や慣れないインターネット環境での研修参加は、今では経験できない。この状況下で情報共有することは、受講者本人に限らず、病院にとっても貴重な体験である」「今まさに済生会のネットワークの強みを生かすチャンスである」との意見があった。

この日の協議を踏まえ、今年度の本部研修の実施について改めて通知する。
(看護室)

ソーシャルインクルージョン

冊子「まちをつむぐ」に “1541の決意”を収載

本部総合戦略課は、全施設が自ら取り組むことを宣言した事業「済生会ソーシャルインクルージョン推進計画」をとりまとめ、その全てを収載した冊子「まちをつむぐ」を作成した。

「済生会ソーシャルインクルージョン推進計画」は、全施設が自ら取り組むことを宣言した事業「済生会ソーシャルインクルージョン推進計画」をとりまとめ、その全てを収載した冊子「まちをつむぐ」を作成した。



〔三重〕松阪総合病院は近隣のイオンで、定期的に出張健康講座を開催

済生会グループ保険のご案内

グループ保険

(本人・配偶者・子ども対象)



- ① 終身医療保障プラン
- ② 医療保障プラン
- ③ 総合医療あんしんプラン

(本人・配偶者・子ども対象)



ゆうゆう ライフプラン

(本人のみ対象)



令和3年度 グループ保険の一斉募集の募集期間は **7月29日(水)～8月20日(木)** です。

※ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ)」を必ずご覧ください。

[グループ保険・ゆうゆうライフプラン]受保険会社
アクサ生命保険株式会社(事務幹事会社)
〒108-8020 東京都港区白金 1-17-3
TEL 03(6737)7777(代表)
日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社
明治安田生命保険相互会社

[医療保険]受保険会社
アクサ生命保険株式会社(終身医療保障プラン・医療保障プラン)
〒108-8020 東京都港区白金 1-17-3
TEL 03(6737)7777(代表)
日本生命保険相互会社(総合医療あんしんプラン)

「あした」は、ナニイロ？

鹿島のしごと。
それは「あした」をつくること。
人と自然と向き合って、
よりよい毎日をつないでいくこと。
暮らしを描く、ものづくり。
無限の創造力で、彩り豊かな未来へ。

100年をつくる会社
鹿島